

令和4年度石巻食品輸出振興協議会 事業実績

■取組1 共同輸出に向けた体制強化

1 幹事会の開催 2回

共同輸出事業の自立的な取組みを目指し、販路拡大・獲得に向けた事業の検討・協議を行った。

日付	内容
6月16日	令和4年度通常総会について
1月20日	収支中間報告、アメリカ東海岸流通ルート開拓事業、マレーシアでの石巻フェア、旅費規程の改正

2 事業者会議の開催 7回

アメリカ輸出に向け、現地バイヤーを招聘し会員事業者と意見交換を行ったほか、国外事業に関する協議、情報共有を行った。

日付	内容
7月5日	アメリカ案件進捗、中東案件進捗、その他各商談進捗報告、輸出支援情報共有
8月9日	ゲスト：中東バイヤー2社 （株）ペトラ フィラース社長 リベルテパートナーシップス（株） 今野社長 中東案件進捗、アメリカ案件進捗、その他各商談進捗報告、輸出支援情報共有
9月15日	ゲスト：ShunTokyo クリエイティブディレクター・コピーライター 岩井 俊介 氏 アメリカ向け石巻ブランドの立ち上げについて、アメリカシェフ・ジャーナリスト来石報告、アメリカ案件進捗、その他各商談進捗報告
10月20日	受注・引合い状況の共有、アメリカ案件進捗報告
11月24日	鹿児島出張報告、受注・引合い状況の共有、石巻シーフードブランドづくりに向けて意見交換、石巻フェア開催地検討
12月22日	神戸出張報告、受注・引合い状況の共有、石巻ブランド意見交換、石巻フェア in クアラルンプールについて
3月24日	アメリカ出張報告、石巻フェア報告、受注・引合い状況の共有

3 相談体制の継続

会員事業者からの輸出実務に係る相談に随時対応を行った。

相談件数 約100件

4 輸出可能商品の拡充

バイヤーとの意見交換、現地調査等により把握したマーケットニーズに対応すべく、商品ラインナップについて各事業者と意見交換を行った。

5 各種講習会

8月初旬にJETRO 仙台との共催により、「水産品を中心とした欧州最新食品市場セミナー」を開催。オランダより講師を招聘し、欧州市場の最新情報とEU HACCP等の規制面について講演を行った。

6 情報発信の強化

国内外へのPR強化を目的としたホームページでの情報発信のほか、各種商談会や講習会、補助制度のお知らせを会員向けメールで配信した。

7 課題整理とスキルアップ

定期的なアメリカへの輸出を通じて、各会員の課題の整理・分析・検証を行い、輸出に係るスキルアップが図られた。

8 輸出専門機関、関連団体等との情報共有

石巻市産食品の輸出促進を図るため、輸出専門機関（JETRO 仙台等）や関連する団体（東北・食文化輸出推進事業協同組合等）等と情報共有を行いながら事業を実施した。

■取組 2 輸出拡大に向けた取組み

1 GFP グローバル産地づくり推進事業

アメリカへの輸出拡大に向け、農林水産省補助金を活用し、現地ニーズに対応できる産地体制の整備を図るもの。

3か年事業の1年目として以下の事業を実施。

- ・現地に物流・商流を有するグローバル・オーシャン・ワークスグループとの定期的なミーティング（対面・オンライン）の実施。
- ・月例で会員事業者との連絡会を開催。シーフード産地としての石巻の特色・魅力について意見交換を行った。
- ・現地に約1か月滞在し、量販店・飲食店のマーケティング調査を実施。石巻産食品を持ち込んでの売込みにより、ターゲットごとの需要を把握することができた。
- ・調査結果に基づき、令和7年度までの輸出事業計画を策定。
- ・食品衛生規制面の専門家である合同会社グローバルソリューション村井氏をアドバイザーとして起用し、米国水産 HACCP・FSMA 等に係る勉強会の実施、定期的なミーティング等によりアドバイスを受け、新規でアメリカ向け輸出に取り組む事業者が増加した。

- 2 在米日本国大使館連携事業 海外トップシェフ・ジャーナリストの招聘
8月末にアメリカ、イギリス及びカナダからトップシェフ1名、ジャーナリスト4名を招聘。石巻魚市場や水産加工施設、ほや養殖場などを案内し、現地視察及び意見交換を行った。

トップシェフからは赤ムツとほやが高い評価を得ることができ、その後の取引につながったほか、同シェフはアメリカにおいて大きな発信力を持っており、これを機に石巻産食品のPR及び新たなコネクションの獲得が期待される。

ジャーナリストたちは帰国後、各オンラインメディアで今回の訪問について寄稿しており、水産物をはじめとした石巻市の魅力のアピールにつながるものと思われる。

- 3 マレーシアでの石巻フェアの開催

3月にマレーシア・クアラルンプールにあるレストランにおいて、石巻産食品を使った料理を期間限定メニューとして提供したほか、フードセッションを3日間、各日2回開催し、使用する食材についての説明に加え、産地としての石巻を紹介し、石巻のPRにつなげることができた。

来客者の中には現地インフルエンサーやプライベートジェットを保有する富裕層もおり、今後の波及効果にも期待できる。

- 4 発酵コンソーシアム試食会への参加

発酵食品の米国への輸出に向け、会員事業者と各地の食品製造事業者とで試食・意見交換を行い、発酵を通じた市場開拓の可能性を探った。

- 5 その他各種商談

これまでの協議会活動で築いたコネクションにより、継続的に商談・取引を実施。

協議会事業者を対象に令和4年度の輸出実績に関してアンケート調査を実施したところ、輸出額 816,453千円であった。

水産物	農産物	計	参考R3	比較増減
788,320千円	28,133千円	816,453千円	580,400千円	236,053千円

うち、輸出協議会経由の輸出額は13,843千円であった。